

## 評価結果概要表

【評価実施概要】 作成日 平成21年4月14日

事業所番号	2775004902	評価機関名	特定非営利活動法人 近畿マネジメント・サポート・センター
法人名	社会福祉法人 美正福祉会	所在地	大阪市東住吉区山坂5丁目5番14-103号
事業所名	グループホーム サニーハウス	評価調査日	平成 21 年 4 月 8 日
所在地	東大阪市御厨南二丁目6番11号 電話 06-6618-6262	評価確定日	平成 21 年 4 月 17 日

【情報提供票より】 (平成21年3月20日事業所記入)

## (1) 組織概要

開設年月日	平成17年6月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数	12 人
職員数	11 常勤 8 人	非常勤 3 人	常勤換算 10.2 人

## (2) 建物概要

建物の構造	単独 鉄筋コンクリート 3階建ての(2階~3階部分)
-------	-------------------------------

## (3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃 (平均月額)	45,000円	その他の経費 (月額)	29,000円	
敷金	無 ( )			
保証金の有無 (入居一時金を含む)	有	120,000円	償却なし	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1月当たり	48,000円		

## (4) 利用者の概要 (3月20日現在)

利用者人数	12 名	男性	0 名	女性	12 名
要介護1	3 名	要介護2	2 名		
要介護3	1 名	要介護4	4 名		
要介護5	2 名	要支援2	0 名		
年齢 平均	79 才	最低	67 才	最高	92 才

## (5) 協力医療機関

協力医療機関名	八戸の里病院 菰池歯科
---------	-------------

## 【外部評価で確認された、この事業所の特徴】

毎日の申し送り時の報告記録を基に、昨年以前から丁寧に引継ぎを実施しており、これが毎日の職員による介護に役立っている。また、その結果が毎月のカンファレンスで積み重ねられ、利用者の介護改善のプラスとなっている。特に管理者は、利用者の現在の症状把握を重視しているが、1ユニットが6名という関係もあって、職員の看守り、聞き取りは行き届いている。

重点項目①	前回評価での主な改善課題と、その後の取り組み、改善状況 (関連項目: 外部4)
	地元自治会との交流については、職員の仲介により自治会各役員の方々との間で進められ、開催する諸行事にも希望者が出席している。また、利用者のご家族とは、来訪時の交流から積極的に進められ、職員は利用者の看取り、聞き取りを重視することに取り組んでいる。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)
	管理者が主として下書きを作成し、それを中心に職員が介護の合間を縫って、検討と改善の話し合いをしている。昨年は新入職員が2名退職しているが、ベテラン職員7名が中心となって介護を進めたので、利用者に対するダメージは最少限に済んでいる。新人職員への介護指導は、管理者やベテラン職員が付き添い3ヶ月間、細かい点まで実施している。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容、及び、それらを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)
	運営推進会議は原則的に2ヶ月に一回開催しているが、主な検討討議は、ホームの前回以降の行事その他の報告で、出席した各委員からの情報や提案、ホームへの質疑、助言等で、介護向上に役立たせてもらっている。今後も、助言や情報の提供をいただけることを期待している
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)
	毎月、費用等の支払いに、ご家族が来訪されるので、その際に管理者を始め職員が細事に亘り、面談するように務めている。現在は、ご家族アンケートにも苦情は受けていなし、質問やご意見があれば、早速、対応し、結果を管理者に報告している。
重点項目⑤	日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)
	地元自治会とは役員さんから逐一、情報を頂ける関係となっている。利用者は各種行事の中で、参加可能な場合には、出席してもらっている

（ 部分は重点項目です）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I 理念に基づく運営</b>					
<b>1 理念と共有</b>					
	1	○ 地域密着型サービスとしての理念 地域の中で、その人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	利用者に「ゆとりのある、人間としての尊厳を持って生活を送って頂く」の理念を掲げている		
	2	○ 理念の共有と、日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念に基づき介護は行われているが、職員への理念に基づく言動と行動への取り組みは、していないようである	○	企業理念は組織としての原点になるので、職員会議、申し送り時、等で繰り返し訴えて欲しい
<b>2 地域との支えあい</b>					
	3	○ 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等の地域活動に参加し、地域の人々と交流することに努めている	地域諸組織の役員の方々との交流が進められ、諸活動には適宜、希望者が参加させてもらっている		
<b>3 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
	4	○ 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者が原案を作成し、それを基に、各職員が話し合って作成している		
	5	○ 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について、報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービスの向上に活かしている	原則的として、2ヶ月に一回、開催されている。会議内容はホームの行事等の報告と、各委員からの情報交流で、その中から選択して、サービスの向上に役立てている		
	6	○ 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	提出書類は市役所のご担当に持参したり、その他、日常の些細なことでも、電話で問い合わせをしている		
<b>4 理念を実践するための体制</b>					
	7	○ 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び、個々にあわせた報告をしている	ご家族とは支払いの来訪時も含め、よく話し合いをしている。又、職員にも、ご家族との情報の交流を指示している		
	8	○ 運営に関する家族等の意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族アンケートでも特に、ご不満はなく、喜んで頂いている。運営推進会議にも、ご家族代表に出席して頂いている		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	9 18	○ 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	毎日の介護はベテラン職員が中心となっているので、離職者があっても、ダメージは最小限となるよう配慮されている		

## 5 人材の育成と支援

	10 19	○ 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者は、ベテラン職員をはじめ全員のレベルアップに繋がるので、研修指導には特に配慮している。新人教育は、初めの3ヶ月間は管理者、ベテラン職員が付き添い、夜間も含めて実施している		
	11 20	○ 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて質を向上させていく取り組みをしている	市役所、包括センター等のご指導により、他のホームとの交流、研修会へも出席し、ケアレベルの向上に役立っている。		

## II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

## 1 相談から利用に至るまでの関係づくりと、その対応

	12 26	○ 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し納得した上で、サービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者、ご家族に納得して頂けるよう配慮している。入所後には寄り添って話し合い、聞き取り、看取りについては、特に注意している		
--	-------	---	---	--	--

## 2 新たな関係づくりと、これまでの関係継続への支援

	13 27	○ 本人と共に過ごし、支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日々の生活上で出来ることは、出来るだけ手伝っていただくように配慮している。また、人生の先輩としての教えも頂いている		
--	-------	--	---	--	--

## III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

## 1 一人ひとりの把握

	14 33	○ 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者の希望・意向の把握は重点事項としているが、ややもすると業務が優先しがちになるので、注意している	○	利用者に寄り添って、言い出しにくい心の問題を把握し、改善への手掛かりとして欲しい
--	-------	---	--	---	--

## 2 本人がより良く暮らしを続けるための介護計画の作成と、見直し

	15 36	○ チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	管理者は、利用者の日々の看取り、聞き取りを重視して、職員を指導している。又、利用者の新計画については、カンファレンスにて、職員との話し合いを基にして作成している		
--	-------	--	--	--	--

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	37	○ 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	管理者は期間よりも、利用者一人ひとりの変化の把握を重視し、職員を指導し、カンファレンスをしている	○	利用者の年毎の変化は、徐々に進むので、記録の閲覧から発見することも大切なこととして、平行して検討して欲しい

### 3 多機能性を活かした柔軟な支援

17	39	○ 事業所の多機能性を活かした支援 本人や、家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	法人の各種の機能を活かして、柔軟な支援を行っている		
----	----	---	---------------------------	--	--

### 4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

18	43	○ かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られた、かかりつけ医と、事業所の関係を築きながら、適切な治療を受けられるように支援している	法人の病院、ご家族、その他の支援を頂き、適切な受診への配慮をしている		
19	47	○ 重度化や週末期に向けた方針の共有 重度化した場合や、終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびに、かかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	理事長院長の指導をいただき、ご家族とは適当な段階から、重度化、終末の話し合いをしている。職員へも、情報による話し合いをして、方針を共有している		

## IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

### 1 その人らしい暮らしの支援

#### (1) 一人ひとりの尊重

20	50	○ プライバシー確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない	利用者の個人の尊厳については、特に指導を重ねている。又、管理資料の保管についても、細心の注意をしている		
21	52	○ 日々の、その人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の希望に沿うようにはしているが、ややもする、仕事優先となるので注意している		

#### (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援

22	54	○ 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は業者からの配達となっているが、献立については注文を付けている。自分達だけで作る食事会も適宜に、行っている		
----	----	---	---	--	--

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	23	57	<p>○ 入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		<p>入浴については、夜間も含めて、出来る限り希望に応じている</p>

## (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援

	24	59	<p>○ 役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		<p>楽しみごとは、一人ひとりで過ごして頂けるように適宜、用意している</p> <p>管理者は今後、散歩と外出の機会を、出来る限り増やしたいとしている</p>
	25	61	<p>○ 日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりの、その日の希望にそって戸外に出かけられるよう支援している</p>		<p>周辺地域は自動車通行が多いため歩く散歩が難しい環境にあるので、自動車を利用し、職員の使用を兼ねての外出に、同行をしてもらっている</p> <p>地域での外出散歩が危険なため、2階3階とも、建物中央の廊下に手摺りもあり、歩き易いので、毎日、適当に歩いてもらっている</p>

## (4) 安心と安全を支える支援

	26	66	<p>○ 鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中、玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		<p>エレベーターホールには鍵を掛けている</p>
	27	71	<p>○ 災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>		<p>避難訓練は職員で行われ、消防署員立会いの訓練も実施している、3月にも消防署員の立ち入り指導があった</p>

## (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援

	28	77	<p>○ 栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>		<p>食事と水分の摂取量のチェックは日常業務として記録している</p> <p>○ 定期的な体重記録を続けて欲しい 毎日の摂取カロリーの概算についても職員間で工夫し、把握して欲しい</p>
--	----	----	---	--	---

## 2 その人らしい暮らしを支える生活習慣づくり

## (1) 居心地のよい環境づくり

	29	81	<p>○ 居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		<p>清掃は毎日、全員で個室も含めて実施しているが、新築建物でもあり清新な雰囲気が漂っている。又共用部分には、適宜、季節の飾り物を、掲示している</p>
	30	83	<p>○ 居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		<p>個室は、行き届いた清掃をして、各自が、自由に生活を楽しんでいる</p>